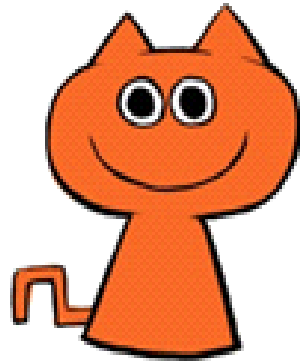


ひとりぽっちをつくらない

～すべての人に居場所と役割を～



マスコットキャラクター“ビーのん”
よろしくね！！



社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会 勝部麗子



こんな町中に
バナナかよ!!

豊中まで



都市型農園を拠点に人と人とのつながり、ふれあい、認め合い、支え合う共同空間(コモンズ)を創造することで、社会参加(特に男性)を促進し、地域社会の

【事務局】

社会福祉法人 豊中社会福祉協議会
大阪府豊中市中桜塚2丁目29番31号
(地域共生センター東館2F)
Tel : 06-6848-1279



関西テレビ
NEWSランナー
2024/5/2





豊中び～のび～の

メダカ販売はじめました!!



び～のび～のとは？

これまで一歩が踏み出しにくかった、引きこもりがちな人の通いの場です。

楊貴妃とは…。

気高く綺麗な朱赤色なので、世界三大美女の楊貴妃と名づけられました。ヒメダカと同じく突然変異で朱赤色になったそうです。

水槽だけでなく、睡蓮鉢やボトルでお洒落に飼う事もできます。

楊貴妃 一匹 200円



小学校やこども園での飼育体験
高齢者施設でのリラクゼーション
にいかがですか？
水槽の設置や産卵時期の繁殖
についてもアドバイスします。
下記にお問合せください。

社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

活動場所：東豊中地域福祉活動支援センター
豊中市東豊中町5丁目3-1
(東豊中老人憩の家4階)

連絡先：地域福祉課地域支援係
TEL 6848-1279
FAX 6841-2388



壁面アートで不登校支援 六年ぶりの外出



コミュニティソーシャルワーカーが支える住民主体の地域活動 (大阪府豊中市)

自治体概要※
 人口 400,741
 面積 36.60km²
 小学校数* 41
 中学校数* 18
 ※2021年4月1日現在
 *市立のみ

- 小学校区ごとに設置した「校区福祉委員会」(地域住民が活動の中心)において、ごみ屋敷など、なんでも相談を通じて把握した課題を地域住民とともに解決を図る。
- 社会福祉協議会(生活困窮者自立支援制度の自立相談支援の委託も受ける)のCSW(コミュニティソーシャルワーカー)が、専門的観点からサポート。

住民に身近な地域での取組

◎校区福祉委員会

- 小学校区ごとに設置された自主ボランティア組織
- 校区内の福祉問題を解決するために、地域の各種組織の協力を得て活動
- 配食サービス、ミニデイサービス、サロン事業、ボランティアの育成・登録等を実施



豊中あぐり

◎豊中あぐり(新たな担い手の育成)

- 都市型農園を拠点に、人の交流と社会参加を促進(中高年男性中心)し、地域福祉の担い手づくりを目指す

◎福祉なんでも相談窓口(地域福祉の活動拠点)

- ボランティア(校区福祉委員、民生・児童委員)がどのような相談でも受け止める。

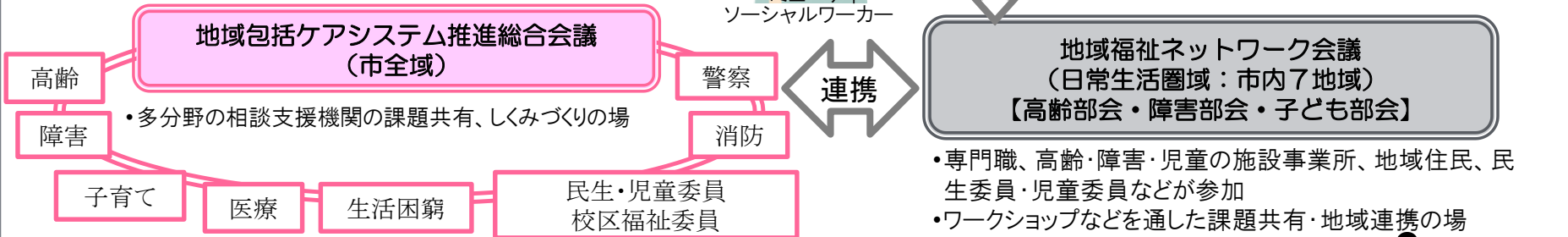
◎CSW(コミュニティソーシャルワーカー)

- 市社会福祉協議会のCSWが専門的観点から住民活動をサポート
- 住民と協働しながら、地域のニーズを把握
- 必要に応じて、関係機関や広域のネットワーク会議等につなぐ



住民・専門職によるアウトリーチ(ローラー作戦)

市レベルでの取組



地域共生社会への新たなステージ

- ・一人も取りこぼさない ……**SOS**を出せない人に届く
- ・排除から包摂へ ……総論賛成各論賛成へ
- ・支えられた人が支える人に
- ・全ての人に居場所と役割を
徹底した本人尊重と力が発揮できる社会づくり

……それを支えるための丸ごと

断らない福祉

多機関協働

……福祉が町おこし

……社会的孤立への対応



豊中市社会福祉協議会の活動概要

- 昭和58年 法人格取得
- 昭和62年 賛助会費導入 ※福祉のまちづくり講座、給食サービス開始
- 平成 4年 校区ボランティア部会設置事業、福祉作業所連作会・・・福祉の店「なかま」設立
(平成 7年 阪神・淡路大震災)
- 平成 8年 小地域福祉ネットワーク活動開(各校区で見守り・声かけ活動、サロン活動が始まる。)
- 平成13年 介護相談員派遣事業開始
- 平成16年 地域福祉計画を市と協働で作成
※福祉なんでも相談窓口を各校区に設置
※地域福祉ネットワーク会議、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）設置
- 平成21年 福祉公社と統合 地域福祉権利擁護センター、地域福祉活動支援センター設置
厚生労働省モデル事業 安心生活創造事業開始
- 平成23年 パーソナル・サポート事業開始（～平成24年度）
- 平成25年 生活困窮者自立促進支援モデル事業開始（～平成26年度）
- 平成27年 生活困窮者自立支援事業開始
- 平成28年 豊中めぐりプロジェクトスタート
- 平成29年 豊中市子ども食堂ネットワーク・生活支援コーディネーター配置
- 平成30年 大阪北部地震・台風21号で地域の見守り力発揮
- 平成31年 第12回全国校区・小地域福祉活動サミットin豊中 2300人参加
- 令和元年 地域共生推進プロジェクト事業スタート
- 令和2年 新型コロナウイルス感染拡大 コロナ特例貸付・IT化の新しい生活様式下での地域活動

1,豊中市社会福祉協議会のCSWの取り組み 2004年から地域福祉計画に位置付け

- ①制度の狭間から地域づくりへ
- ②住民と協働するワーカー
- ③ライフセーフティネットの仕組み
- ④プロジェクト会議(出口づくり)

総論賛成各論賛成 排除しない地域づくり

→ 個の課題から地域づくりを考える

ゴミ屋敷・子供の貧困・ひきこもり・8050

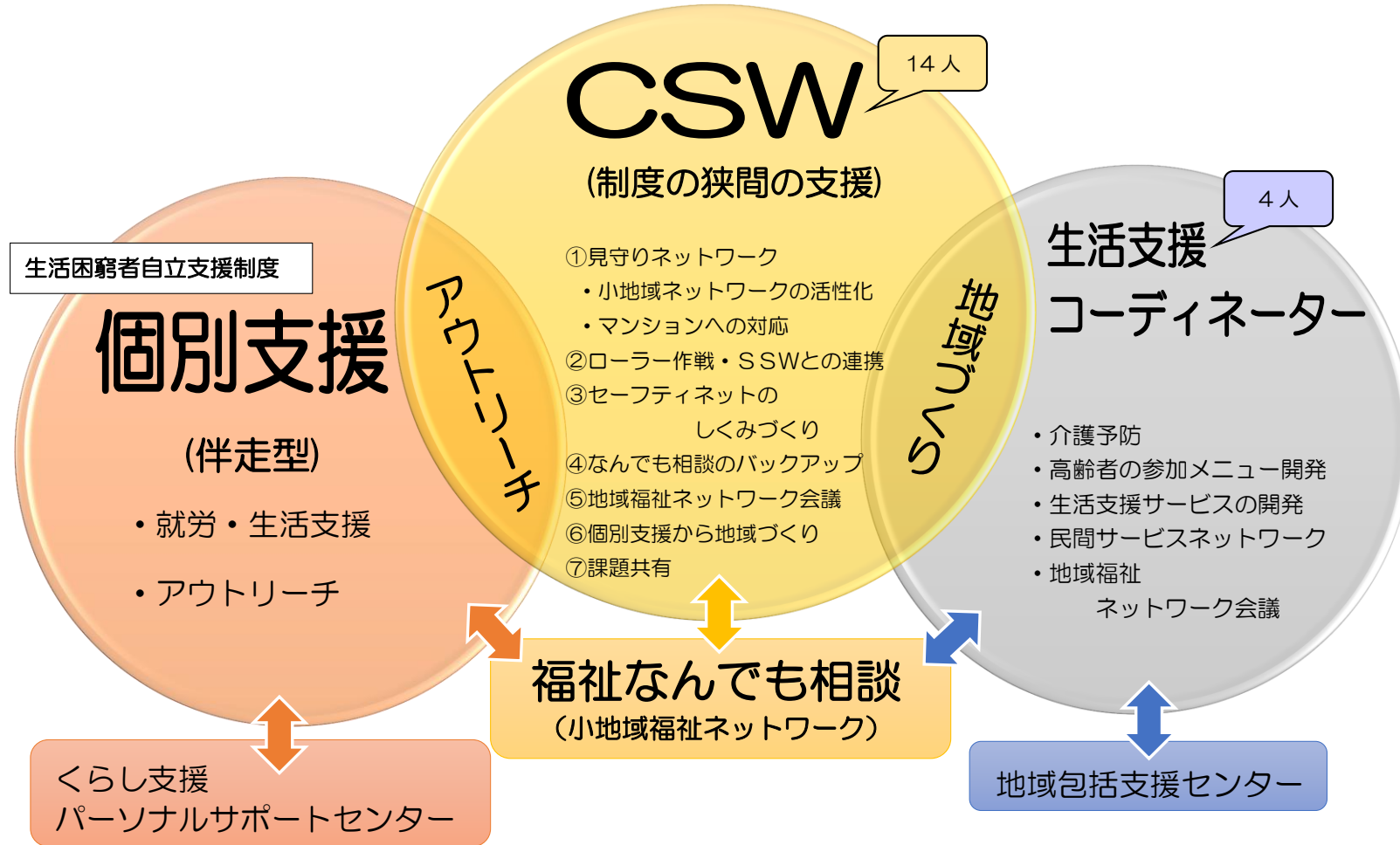
アルコール依存・刑余者などなど

社会的孤立へのアプローチ

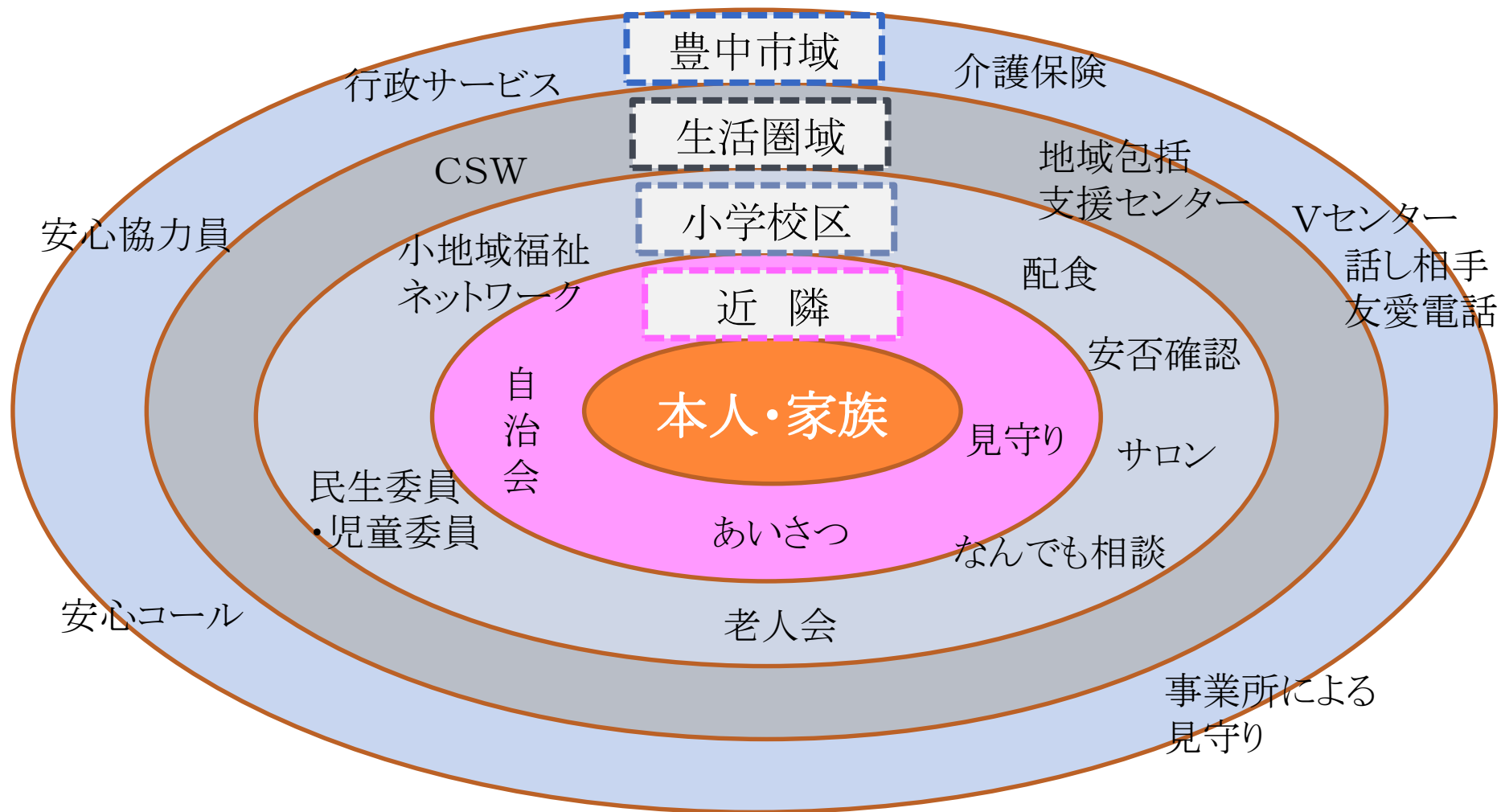


【地域福祉推進専門職の役割】

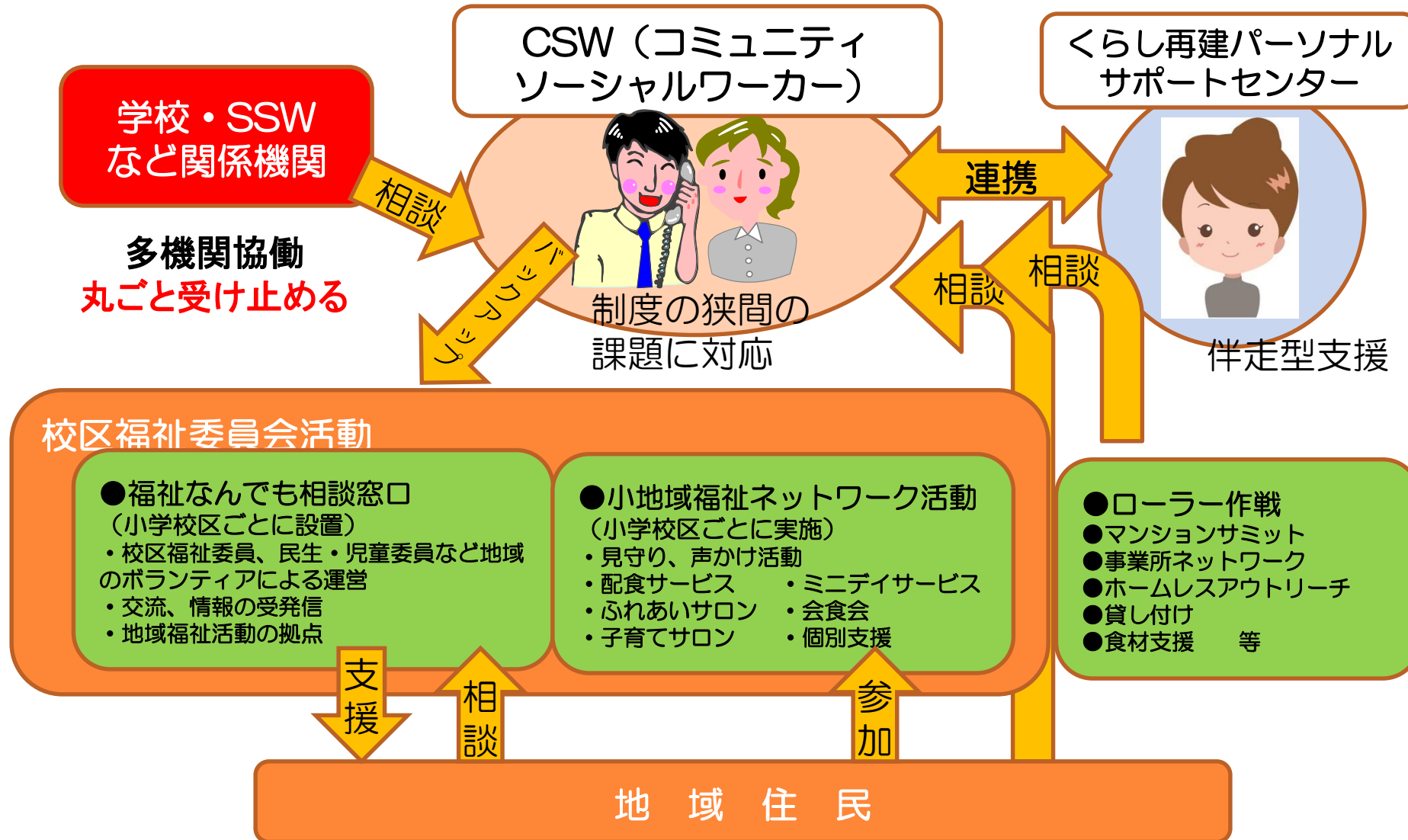
豊中社協(案)



2,豊中における重層的な見守りの方法



豊中市社会福祉協議会の取り組み



2, 一人も取りこぼさない

早期発見・アウトリーチの必要性

- ① 措置から契約へ福祉制度が大きく変化したことに伴い
SOSを出せない人、サービス拒否者は繋がらない
- ② 本当に困っている人はなかなか制度に結び付かない



A 民生委員・校区福祉委員による早期発見

見守り、声掛け、福祉なんでも相談

B 住民による見守りローラー作戦

民生委員、福祉委員、地域包括支援センター、CSW

C 多機関との連携による早期発見

生活困窮者・社会的孤立者の早期発見のための検討会議

行政の滞納状況・SSW・病院などとの連携

D マンションサミット交流会

E コロナ特例貸付 外国人・若年層・ホームレス

F 路上生活者などへのアウトリーチ



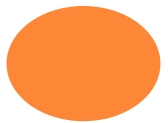
校区福祉委員会活動

- 福祉なんでも相談窓口（小学校区ごとに設置）
- 身近な福祉相談の実施と専門機関への取次ぎ
 - 地域住民が集う、交流ふれ合いの拠点
 - 福祉サービスに関する情報、ボランティア情報、地域福祉活動情報の受発信
 - 概ね週1回、2時間開設



高齢者等見守りネットワーク

緊急時の対応の仕組み



一人も取りこぼさない①

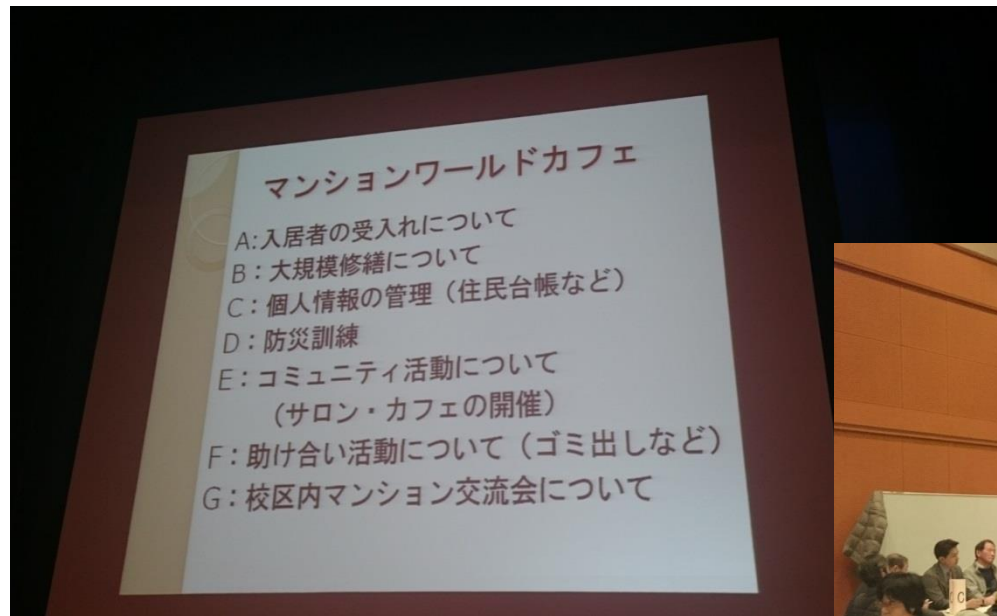
ローラー作戦 年間4000軒 見守りマップ作り



	気になる人
	学校・施設
	空家
	現在だけ空家(入院・入所など)
	民生児童委員
	福祉委員・助け合いメンバー
	ボランティアしてくれそうな人
	まほろば会員
	一人暮らし
	障がいのある人
	お弁当の配食
	高齢者



一人も取りこぼさない② マンションサミット・マンション交流会



安心キットの配布で掘り起こし



4,豊中の生活困窮者支援

生活困窮者支援緊急支援

- ▶ 貸付、日常生活自立支援、なんでも相談、資源ごみ持ち去り禁止条例との連携、学校などからの生活困窮者の伴走支援→CSWへ

(緊急対応、多重債務整理、年金手続き、住宅探し、制度利用、就労支援等)

- ▶ 善意銀行の生活困窮者貸付
- ▶ 民生委員助け合い資金
- ▶ 物品提供(衣類、食糧、リユース)
- ▶ 施設 社会貢献費用との連携
- ▶ 住替え支援
- ▶ 食材支援 フードドライブ



○外国人向けコロナなんでも相談会を
社協・市・国際交流センターで共催
(重層的支援体制整備を目指す包括支援プロジェクト)



R2.11.26

生活相談と食材支援
(20世帯分)などを実施

※多分野の窓口で暮らし
再建を支援する「暮らしを
守る総合相談会」も協働
実施

R2.12.6くらしかん(14名)

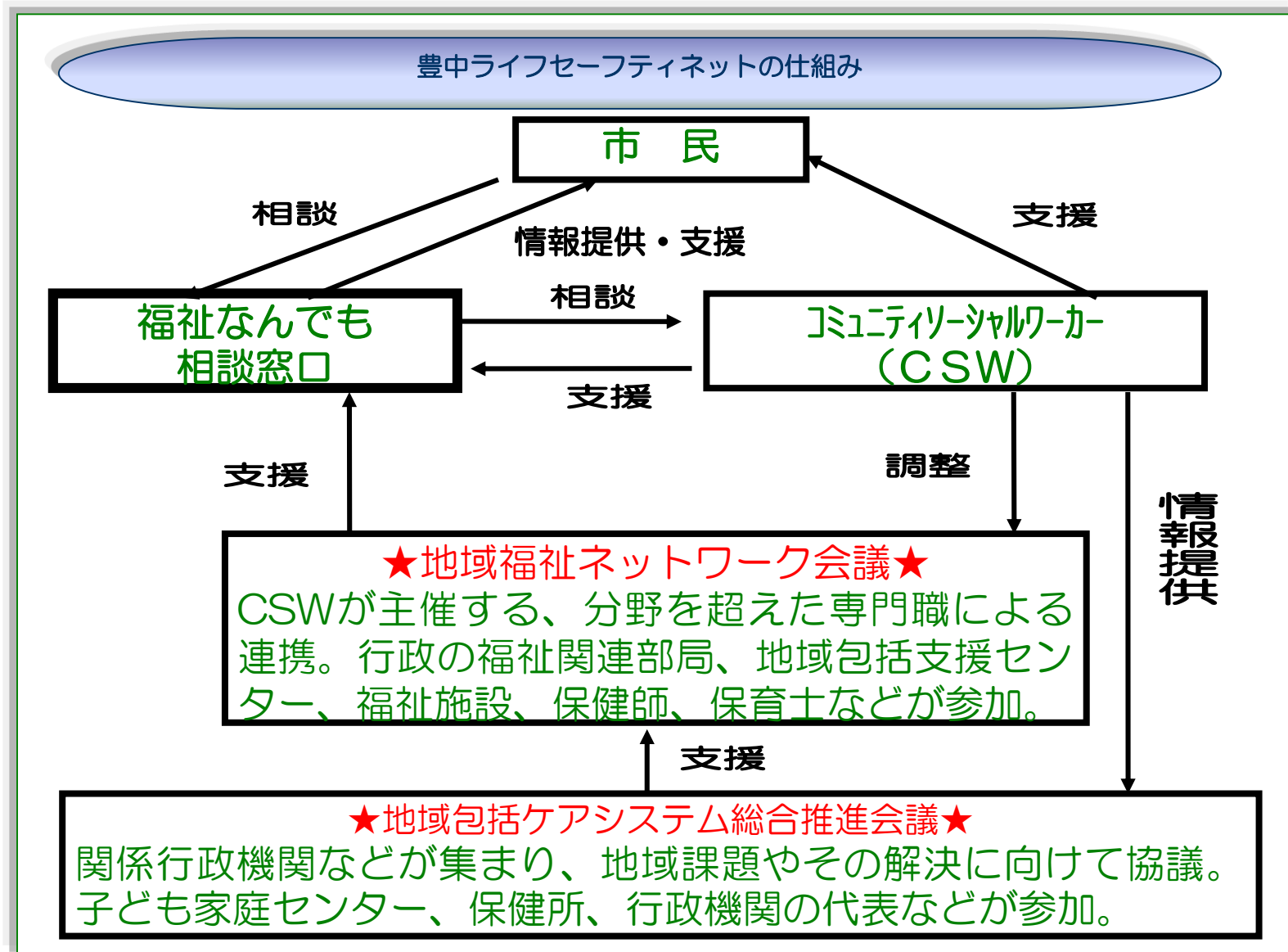
R3.3.7しごとセンター(21
名)



G家を失った人が増えている 早朝からのアウトリーチ



3,丸ごと・多機関協働



コミュニティソーシャルワーカーの取り組み 個別支援から仕組みづくり

- 福祉ゴミ処理プロジェクト
大量ごみの処理についてのルール化を図る
- 徘徊SOSメールプロジェクト
- 各種交流会の開催 同じ立場の介護者をつなぐ
 - 高次脳機能障害者家族交流会&自主グループ化
 - 広汎性発達障害者の家族交流会&自主グループ化
 - 男性家族介護者・若い家族介護者の交流会
- 子ども食堂
- 豊中めぐり
- 引きこもりの居場所づくり ビーの×マルシェ
- 内職広場・道端の駅
- 福祉便利屋
- フードドライブ
- 8カ国語の地域福祉ガイドの作成



4,すべての人に居場所と役割を 支援から社会参加へ

(地域づくり)

定年後の男性

高齢者

子どもの貧困

引きこもりの若者

認知症の当事者と家族

夜間中学・外国人などとの交流

⇒ ここがまた早期発見のつながりづくりに



①すべての人に居場所と役割を
宅地の無償貸与→都市型農園豊中あぐり



硬い岩盤がみるみる





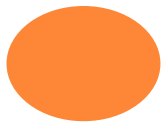
原田菜園での芋ほりと出来た焼酎「豊中めぐり」



しめ縄作り



案山子を作りました



課題ごとのプロジェクト

移動販売 豊中あぐり 動くマルシェ

- ・移動販売もスタート！





月に一度の実行委員会



毎週の共同作業日



原田菜園



北大阪地震発生時の土壌づくり



令和3年秋季新塾生研修会



車椅子での参加



地産地消販売所



共同募金



塩崎厚生労働大臣の視察



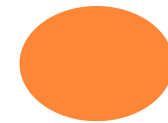
根本厚生労働大臣視察



NHKさすイチでのLive中継



地域集会所での販売と安否確認





介護予防についての話し合い 協議体の開催

第1回(5/22)



市内の高齢者支援に関わる団体・行政・当事者団体など31団体が参画。

- ・地域ごとの取り組みが一覧で見ることができると分かりやすい。(介護者(家族)の会)
- ・地域でパワーアップ体操の取り組みをしているが、近いところが行きやすいという方が多いので、場所があればもっと広がるのではないか。(登録ボランティア)
- ・ぐんぐん元気塾の際にあぐりの野菜を販売したところ、好評だった。翌週も野菜を買うつもりで参加された方がおられた。(校区福祉委員会)



福祉便利屋事業 住民主体の運営委員会



②すべての人に居場所と役割を

内職広場・・・仕事を通じての社会参加



道端の駅・・・ビーの×マルシェに高齢者の手作り品の
常設販売スペース



介護予防お助けバンク



- ・37名登録(H31.2.22現在)
- ・2月号の生活支援コーディネーターニュースを見て、新規登録あり
- ・地域福祉活動支援センターでの介護予防講座の講師として活躍中



ぐんぐん元気塾

人数を半分にまたは会場を倍の大きさに変えて
茶話会なしに...



岡町オレンジカフェ和居輪居



好きな食べ物全員が柿ださったので吊るし柿を渋柿を探す



買い物支援 移動ローソン 施設と連携



1,豊中市社会福祉協議会のCSWの取り組み

重層的支援体制整備支援事業(社会福祉法第106条の4)の概要

- 地域住民が抱える課題が複雑化・複合化(※)する中、従来の支援体制では課題がある。 (※)一つの世帯に複数の課題が存在している状態(8050世帯や、介護と育児のダブルケアなど)、世帯全体が孤立している状態(ごみ屋敷など)
- ▼属性別の支援体制では、複合課題や狭間のニーズへの対応が困難。
- ▼属性を超えた相談窓口の設置等の動きがあるが、各制度の国庫補助金等の目的外流用を避けるための経費按分に係る事務負担が大きい。
- このため、属性を問わない包括的な支援体制の構築を、市町村が、創意工夫をもって円滑に実施できる仕組みとすることが必要。

社会福祉法に基づく新たな事業(「重層的支援体制整備事業」社会福祉法第106条の4)の創設

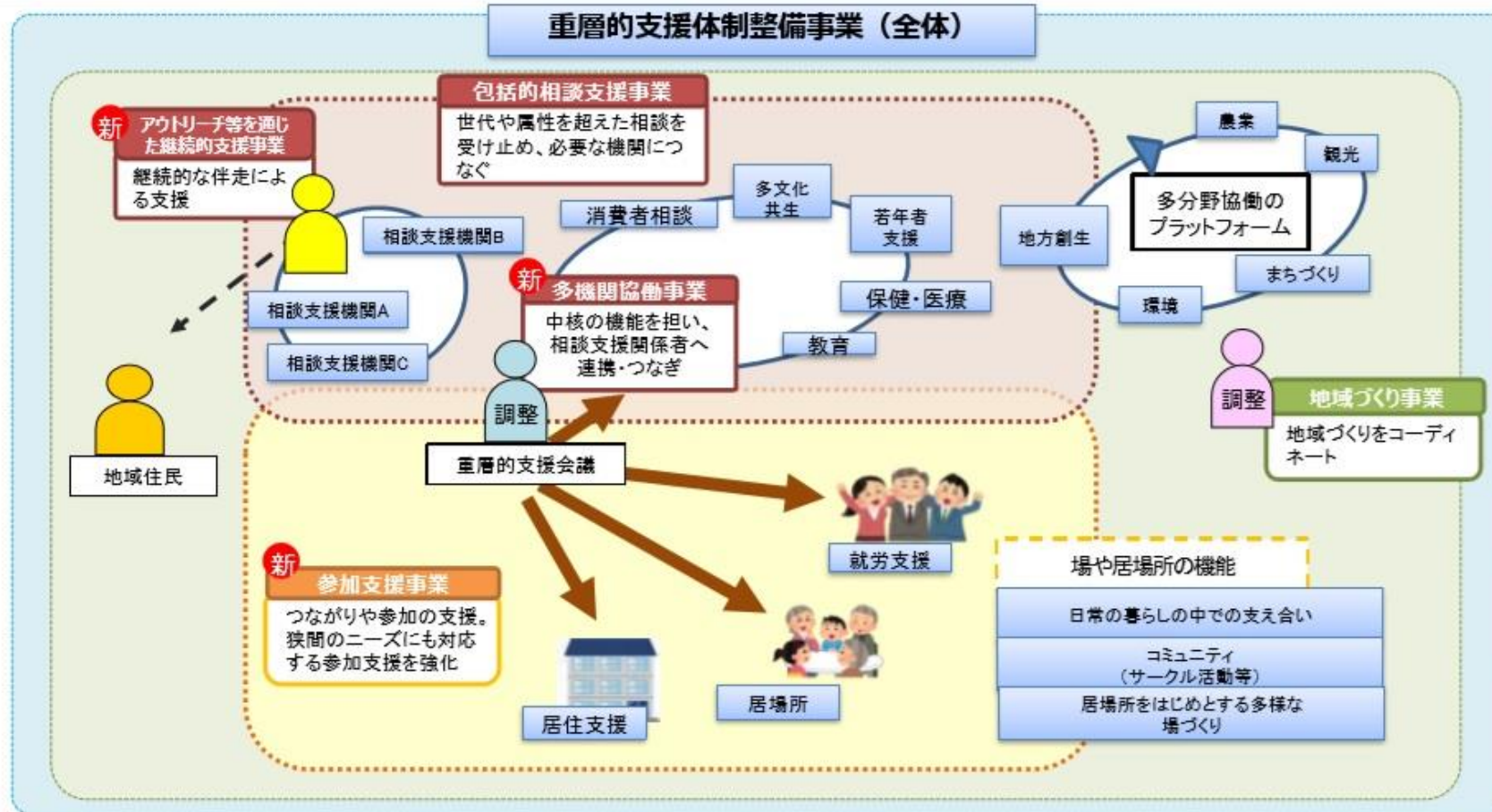
- 市町村において、既存の相談支援等の取組を活かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、**I 相談支援**、**II 参加支援**、**III 地域づくり**に向けた支援を一体的に実施する事業を創設する。
- 新たな事業は実施を希望する市町村の手あげに基づく任意事業。ただし、事業実施の際には、I～IIIの支援は必須
- 新たな事業を実施する市町村に対して、相談・地域づくり関連事業に係る補助等について一体的に執行できるよう、交付金を交付する。

→ 令和3年4月1日施行



重層的支援体制整備事業について(イメージ)

- 相談者の属性、世代、相談内容に関わらず、**包括的相談支援事業**において包括的に相談を受け止める。受け止めた相談のうち、複雑化・複合化した事例については**多機関協働事業**につなぎ、課題の解きほぐしや関係機関間の役割分担を図り、各支援機関が円滑な連携のもとで支援できるようにする。
- なお、長期にわたりひきこもりの状態にある人など、自ら支援につながる事が難しい人の場合には、**アウトリーチ等を通じた継続的支援事業**により本人との関係性の構築に向けて支援をする。
- 相談者の中で、社会との関係性が希薄化しており、参加に向けた支援が必要な人には**参加支援事業**を利用し、本人のニーズと地域資源の間を調整する。
- このほか、**地域づくり事業**を通じて住民同士のケア・支え合う関係性を育むほか、他事業と相まって地域における社会的孤立の発生・深刻化の防止をめざす。
- 以上の各事業が相互に重なり合いながら、市町村全体の体制として本人に寄り添い、伴走する支援体制を構築していく。



豊中型重層型支援体制整備事業

- アウトリーチ 早期発見の仕組み
- 断らない相談支援体制 地域から社協**CSW**
- 支援会議 地域共生推進委員(社協受託)が参加
- 参加支援 食のアウトリーチ・食材支援・訪問
- 地域づくり
 - ①学校と福祉の連携プロジェクト
 - ②外国人と福祉の連携支援
 - ③ひきこもり支援 **8050**丸ごと支援



重層的支援体制整備での新たな地域づくり①

- ① 学校と福祉の連携プロジェクト
 - プロジェクト会議設置
 - 教職員のための連携ガイド作成
 - 全校訪問 主任児童委員と一緒に
 - 食のアウトリーチ
 - 文化的活動への誘い
 - エンゼルヘルパーの実験
 - 学習支援・子ども食堂づくり



二つのアウトリーチ

- ・問題解決型のアウトリーチ

→本人に困り感がない場合支援拒否となる

問題解決が終息すると訪問できない

- ・見守り型のアウトリーチ

→本人にとって見守りなのか監視なのか



コロナで生まれた

本人にとって必然性があり喜ばれるアウトリーチ

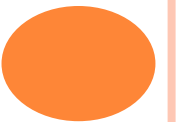
- ・食材支援
- ・宅食 手作りの栄養価の高いお弁当
- ・学習支援
- ・体験活動への案内



社会福祉法人あいわ会と協働でこども宅食
をスタート
支援中の120世帯に配食



愛情たっぷりのお弁当



子ども食堂は屋外野菜収穫体験に...向かい
合わずに
スイカを食べます



豊中あぐり岡町菜園で野菜収穫体験・ あぐりパークでの芋ほり（社協）



外国人親子も参加 あぐりのメンバーから教えてもらいながら収穫



わいわい子ども食堂は大学生ボランティアと学習支援に形を変えて



れんげまつり

宅食・外国ルーツのある子・定年後の男性・オレンジカフェのメンバー



地域での学習支援の場づくり



重層的支援体制整備での新たな地域づくり②

②外国人支援と福祉の連携プロジェクト

プロジェクト会議設置

食材支援(技能実習生・夜間中学・大人食堂)

食材支援付きなんでも相談会

アンケート調査

バザー

フットサル交流会

見守り訪問



企業とコラボレーション フードドライブ



「もったいない」を「ありがとう」に変えよう!
まだ食べられるのに廃棄されている食品を回収する、
食品ロス削減の取り組み

フードドライブ にご協力 ください!!

フードドライブとは…

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ご家庭で余っているまだ食べられる食品を持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動です。食品ロス削減にご協力をお願いいたします。

【回収方法】お持ちいただいた食品は、店舗に設置した回収ボックスにお入れください。豊中市を通じて、豊中市社会福祉協議会より必要とされる方にお渡しいたします。
※詳細は従業員にお問い合わせください。

実施期間 2020年10月19日(月)～10月25日(日) 9:00～18:00
毎月 第3月曜日～翌日曜日の7日間【SENRITO店のみ10:00～19:00】

【回収対象食品】 以下を全て満たすものとなります。ご不明な点は店舗従業員までおたずねください。
(1) 未開封のもの (2) 期限まで1ヶ月以上あるもの (3) 保存が可能であるもの (冷蔵・冷凍食品以外)
(4) 製造者または販売者が表示されているもの (5) 成分またはアレルギー表示のあるもの

実施店舗 KOHYO阪急曽根店・KOHYO SENRITO店
MaxValu豊中緑丘店・MaxValu千里南町プラザ店
PEACOCK STORE千里中央店

株式会社光洋



豊中社協独自のフードバンク 困窮世帯など10 000世帯に



豊中あぐり岡町菜園で野菜収穫体験・ あぐりパークでの芋ほり（社協）



外国人親子も参加 あぐりのメンバーから教えてもらいながら収穫



○継続した食材支援(社協)



↑コロナで影響を受けている夜間中学の学生さんを応援。生徒には外国人の方も多く今後も連携して支援。
* 地域共生フォーラム(全体テーマ)で夜間中学が題材の映画「学校」上映会を企画中(1/21予定)



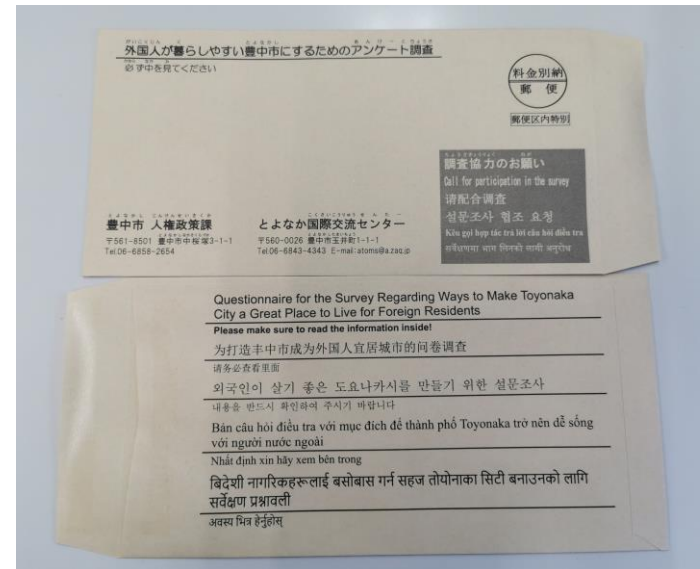
↑技能実習生のみなさんにお届け
次回はフットサルを通じて交流予定(12/3)



3. 「外国人が暮らしやすい豊中市にするためのアンケート調査」について (市・とよなか国際交流協会との共同事業)

【アンケート調査の概要】

- 実施期間: 令和3年(2021年)7月20日から令和3年(2021年)8月31日
- 対象者: 18歳以上の外国人市民約2,800人
※「特別永住者」「永住者」は含まない
- 調査方法: 原則、オンラインでの回答(6言語対応 やさしい日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語、ネパール語)。対象者には、7月20日頃にオンライン回答ができるQRコードを印字した調査依頼書を郵送。



↑国流ホームページより

引きこもり支援でまちづくり



豊中びーのびーのプロジェクト

- 対象：発達障害，引きこもりなどで就職に距離がある人
 - 活動費：1コマ（10:00～12:00，13:30～15:30）につき500円
 - あらかじめ、プログラム予定表を作成し、参加したいプログラムにエントリーしてもらう
- ★プログラム参加の中でオーダーメイド型の支援を行う



プログラム進捗状況（園芸）

- 東豊中地域福祉活動支援センターの4階の庭園にて実施
- ボランティアさんの協力により、大根、人参、ブロッコリーなどを植え、販売



プログラム進捗状況（手作り）

- 手作りプログラム
 - 各種ストラップ作り
 - キャンドル作り
 - 漫画・ハガキ



★作品を福祉の店「なかま」や
市社協のイベントなどで販売



手作りプログラムある日のコマ



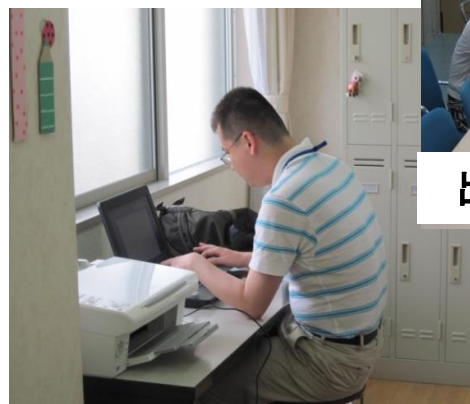
プログラム進捗状況（手作り）

- 自分史作り

漫画班と協力して、ホームレスの体験を4コマ漫画に。

びーのニュースでも
好評連載中！
「たつみんの放浪日記」

原稿作りにはげむ作者



出版社との打ち合わせ



「電車ホテル」

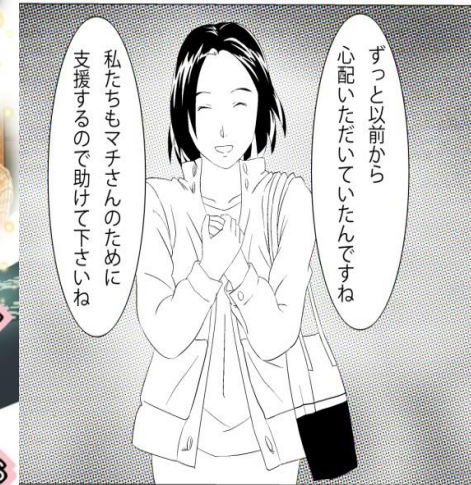
○ 原案：籠原たつみ

○ 作画：ポリン



プログラム進捗状況（手作り）

- 福祉マンガの発行
コミュニティ
ソーシャルワーカーの
役割や仕事を紹介する
漫画を作成



プログラム進捗状況（就労体験）

- 就労体験プログラム…ジョブサポーターと共に仕事を体験

- 出前市場のサポート…府営住宅での出前市場の際、



お買い上げの商品を家まで運ぶ

- 情報誌、夕刊配達





びーの×マルシェ

この店 社会への一歩

豊中市玉出町の住居街の一角に目新な野菜や果物などの食品を扱う店「びーの×マルシェ」がオープンする。スタッフの多くはひきこもりを経験した若者。社会へ一歩を踏み出す場しよう、と、市社福祉協議会（社協）と市小売業団体連合会が共同で運営する、カフェのスペースも設けられ、関係者「地域住民に親しんでもらえる店に育たいたい」と意気込んでいる。

（小坂正臣）

ひきこもり経験者がスタッフ

市社協は、01年度から、ひきこもりの人たちの就労を支援する事業「豊中びーのびー」を展開。参加者は野菜作りやパソコンを使った入力作業などに取り組む。仲間作りも進んでいる。これまで90人ほどが通い、30人程度が就労したという。

今年に入り、市内の社会福祉法人から、かつて作業所だったが、現在使用していない建物を無償で借り受け、このたび、約40平方メートルに改装、「びーの×マルシェ」を始めた。

市社協福祉推進部長の勝部 勝子さんは「市内には3000人のひきこもりの人がいると推測されており、

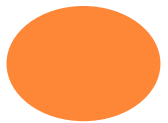
食品販売 豊中あす開業

就労に向けたステップとなる場を育じたかった」と店舗開業の理由を説明する。状況に応じて、大倉正明副理事長は「11月15日、100店舗が加盟する同連合会も参画。各加盟店が、それぞれの店で販売する新鮮な食品や米、パン、漬物などを提供するメニューは、びーのびーの20歳代から40歳代までの参加者約10人で、毎日交代で2、3人ずつが働き、加盟店の店主も来て接客や商品の陳列、金銭管理を指導する。周辺同連合会による、周辺

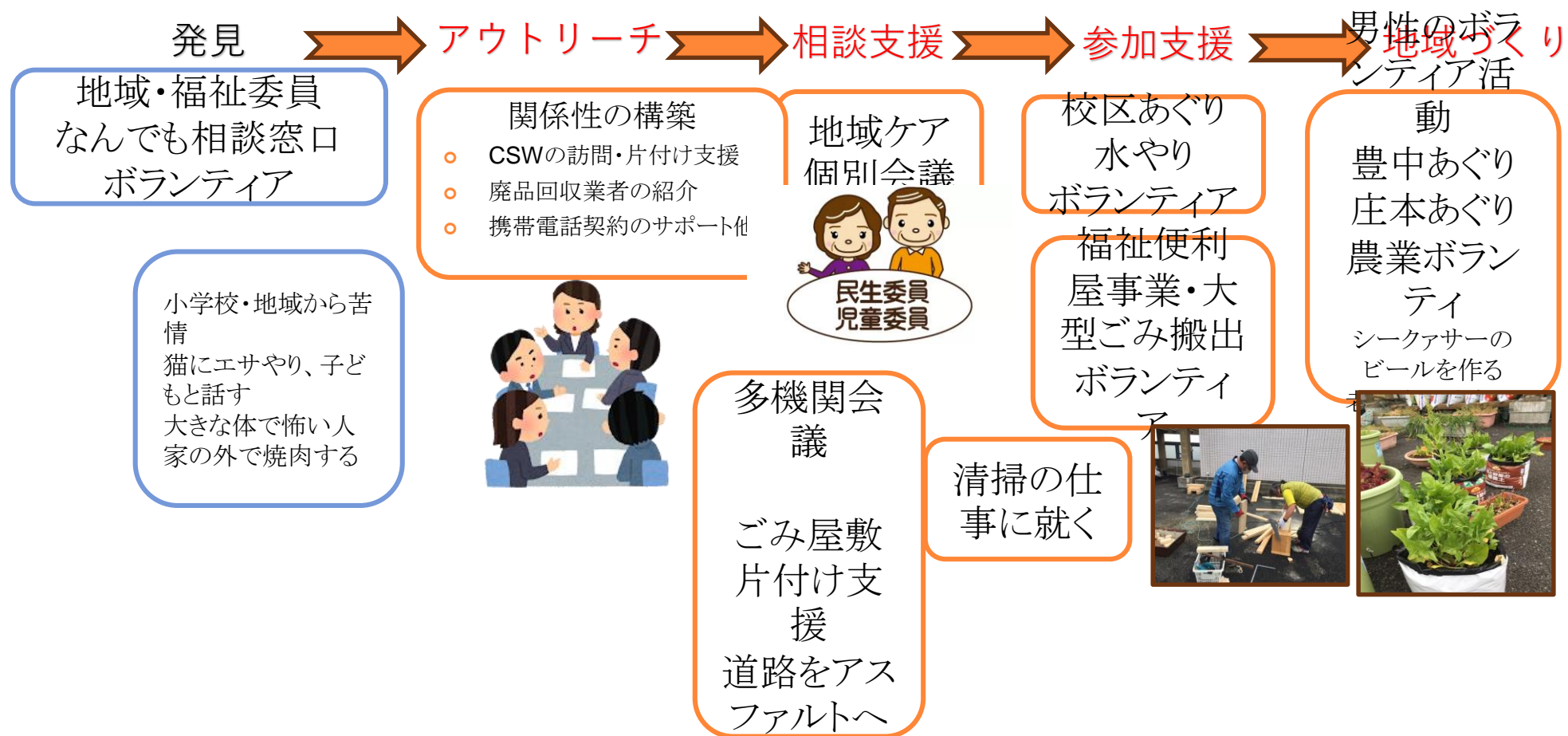
12月15日、豊中市で「びーの×マルシェ」開業式が行われ、お茶会や買い物ツアーも実施された。大倉正明副理事長は「11月15日、100店舗が加盟する同連合会も参画。各加盟店が、それぞれの店で販売する新鮮な食品や米、パン、漬物などを提供するメニューは、びーのびーの20歳代から40歳代までの参加者約10人で、毎日交代で2、3人ずつが働き、加盟店の店主も来て接客や商品の陳列、金銭管理を指導する。周辺同連合会による、周辺

100円で、100円が飲み物。スタッフが女性はお客さんにも声をかけている。開業式は、市社協が豊中東北地方や熊本県の復興支援を通じて交流の脈をのこすという。びーのびーのメンバーは、100円が飲み物。スタッフが女性はお客さんにも声をかけている。開業式は、市社協が豊中東北地方や熊本県の復興支援を通じて交流の脈をのこすという。びーのびーのメンバーは、

100円が飲み物。スタッフが女性はお客さんにも声をかけている。開業式は、市社協が豊中東北地方や熊本県の復興支援を通じて交流の脈をのこすという。びーのびーのメンバーは、



地域から苦情！ゴミ屋敷の無職の男性への支援



生活困窮している外国人親子の支援



総合相談の10の鍵

- 入口と出口づくり
 - 入口 早期発見ネットワーク 解決力が発見力
 - 出口 一般就労だけが出口ではない
ひとりひとりの役割がある
- 本人の自己肯定感を高める 徹底した本人尊重
- 翻訳機能 行政と本人 事業所と本人 地域と本人
- **SOS**を言える気づける地域づくり
 - 知ることによって優しさが生まれる
- 開発力 ないものは作る セーフティネットを作る事業
緊急小口資金・フードバンク



- できる・できないのジャッジのワーカーではいけない
本人の生活から支援を組立てる
- 家族全体の見立てが大切
包括から見たら虐待？ 息子支援は？
保護か？就労支援？
- スモールステップを積み上げる 本人と目標を共有する
- 諦めない心 人生をあきらめかけて人を支える私たちが先に諦めてはいけない
- 援助関係づくり サービス拒否は支援者が拒否されてる
あなたを心配している。苦しい思いを受け止める
社会資源の活用は本人が主体化しないと始まらない

